

Ⅱ. 好奇心の扉を開く

第1章

サイエンス・リテラシープロジェクト I (SLP I)

大矢美香

(1) 目標

サイエンス・リテラシープロジェクト I は、中学2、3年生を対象とした選択授業で、8教科10講座の中から、生徒が2年間で4つの講座を選択し、少人数で活動する。

スーパーサイエンススクールのプログラムの中では、「個性探究期」に位置づけられ、サイエンス・リテラシーの基盤となる自然観察力、実験技術、数式など理数系への個人の興味・関心を掘り起こし、創造力を育成する。また、日本語、英語を使ってインプットした情報を、再構成しアウトプットするといった表現力の基盤を身につけることを目標とする。

(2) 学習方法

十分な時間を確保するために、2時間(50分×2)連続した授業を展開する。

中学2年生に対しては、「理科実験を中心とした内容①」「ものづくりを中心とした内容①」「創造性を生みだすことのできる内容①」「日本語や英語を使って自分を表現することのできる内容」の講座を開講する。

中学3年生に対しては「数学的興味関心を生み出すことのできる内容」を加えたうえで、中学2年生で培った内容を発展的に伸ばすことができるように、「理科実験を中心とした内容②」「ものづくりを中心とした内容②」「創造性を生みだすことのできる内容②」の講座を展開する。

通常の授業では人数や時間の制限などによって十分に扱えない内容を取り入れるとともに、生徒が主体的に取り組める実験・観察や創作活動、発表などの活動を行っている。またこのサイエンス・リテラシープロジェクト I は、後述するサイエンス・リテラシープロジェクト II につながる科目として位置づけられる。

(3) 実践内容

講座名	教科
1. 数学を探究しよう!	数学
2. Try & Error	理科
3. 身近な生物の観察	理科
4. 藍の絞り染めTシャツを作ろう	家庭科
5. 木のおもちゃをつくろう	技術
6. 情報化社会におけるアート	美術
7. CGで表現しよう	美術
8. 新競技・新スポーツを想像する	体育
9. 音楽で自分を表現しよう	技術
10. ことば遊びを楽しもう	国語

2. 5. 6. 8. 10が中学2年生、1. 3. 4. 7. 9が中学3年生の講座である。

(4) 成果と課題

十分な時間をとりながら、課題に対してじっくりと取り組むことができることや、普段は目が届かないが、少人数であるためにきちんと指導ができること、発展的な内容にふれることで、新たな興味や関心を引き出すことができることなどの点では、サイエンス・リテラシーの基礎を形成するという目標をある程度実践できていると思われる。しかしながら、そこからサイエンス・リテラシープロジェクト II へとつなげていくことや、それぞれの教科との関連をどのようにしていくかということが十分とはいえ、次のプログラムに向けての課題である。